

# 北九州調理製菓専門学校 令和4年度 学校自己評価書

学 校 運 営 計 画 (4月)				
教 育 目 標	校訓「礼節」「努力」「創造」の理念に基づき、人格を高め、知識と技術を磨き、人類の飲食文化の向上に資する有意な担い手を育てる。			
昨年度の成果と課題	年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標		
☆成果 引き続き新型コロナウイルスの影響下の求人となったが、学校と事業所との信頼関係の中、希望する学生の就職先をほぼ全員決めることができた。 ★課題 教職員が少ない中、学生への対応が自己のポジションだけに限らず、あらゆる校務分掌において理解・説明、対応できるような教職員集団が必要である。課題解決のためには、教職員が長期就業できる環境作りを行っていききたい。 ★学生に社会のルールや人との約束を守る力、物事に進んで取り組む力等、社会生活において、最低限備わっていないと生きていけないことについては、統一して徹底した教職員の指導が求められる。	専門教育の充実	各コースの特色化・専門性の充実を図る。教師が責任をもって教育活動をつかさどり教科書「を」教えるのではなく、教科書「で」教える教育を展開する。		
	社会に対応できる適応能力をつける	社会人としてふさわしいマナーと、明るく健全な精神の涵養を図る。		
	社会の変化に対応できる進路保障	学生の将来を見据え、社会の変化に応じて一人ひとりの適性に合った進路指導と、就職支援を行う。		
	確かな人権感覚の育成	全教育活動における人権尊重の推進。思いやりや気配りといった精神の涵養を組織的・継続的に取り組む。		
	学校環境整備の徹底	「整理、整頓、清掃、清潔、躰」の5Sを大切にするとともに安全教育の推進と事故防止の徹底を図る。		
評価項目	具体的自己評価点	評価(1月)	項目評価	次年度の課題
教育理念・目的・人材育成	学校の教育目標及び具体的な目標は定められているか	B	C	・教育目標は定められているが、指導に特色がない。保護者に周知する機会も少ないので、まず、学生に周知できるようにする。 ・教職員は毎週月曜日に誓詞を音読し、教育理念に関して意識して業務に取り組んでいるが、学生一人ひとりの教育理念に関する周知がまだ来ていないと思うので、学生への周知等に力を入れたいと思う。 ・学校の教育目標を具体的に示すべきだと思う。 ・教職員の経験年数が短いのでさまざまな研修が必要と思われる。 ・職員の指導方法の共通理解が大切である。 ・昨年よりよい雰囲気や業務が実行できているが、より高めたい。 ・学生に高校の学びの延長ではなく、「社会人になる為の学校」という意識を持たせたい。
	学校の職業教育、教育指導等の特色はあるか	C		
	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	C		
	教育目標・特色・将来構想等が学生・保護者に周知されているか	C		
	個々の教職員が、教育目標・特色・将来構想等に基づいた教育活動を行っているか	C		
	教職員が、教育目標・特色・将来構想達成のために協働で業務を行っているか	C		
学校運営	目標等に沿った教育方針が策定されているか	B	B	・校内コンプライアンスについては、教員のみならず学生間でも不適切な発言が見られる。教員として手本になるのはもちろん、気がついたときに素早く指導するように努める。 ・学則や教務規定等、しっかりと文章化され学校全体で共有できている。今後ペーパーレス化が進むと思うので、データの電子化等の対応にも積極的に応じていけるとよいと思う。 ・教育活動の情報の公開はホームページで公表しているが年間計画の改善が必要。 ・職員間のコミュニケーションはとても大事なものでしっかり行う必要がある。 ・パソコンが一人一台持てるようになり、効率化、共有化できるともよかつたと思う。 ・インスタグラムの更新を心掛けるようにするが、情報を発信しても興味をもたない学生がいるので、興味ひくような内容を発信する。
	教育方針に沿った事業計画が策定されているか	B		
	運営組織や意思決定機能は、学則等において明確化されているか	B		
	校内コンプライアンス体制は整備されているか	C		
	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	B		
	情報システム化等による教務の共有化、効率化が図られているか	C		
教育活動	学科に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	B	C	・外部から授業評価を受けることは少ないので、師範の先生方からのアドバイス等は積極的に取り入れたい。また、研修などがあれば是非参加したい。 ・授業について、実習と座学の連携等に関する教職員間の情報共有やコミュニケーションが必要である。 ・学業成績だけでなく、授業態度や生活態度についてももっと指導していかねばならない。特に挨拶、言葉遣い、話し方等。 ・人材育成に向けた授業を行う教員を確保したい。 ・学生一人ひとりの状況を十分に知る必要がある。また、欠席、欠課の基準を改めて考える必要があると感じた。 ・職員の能力開発の為の研修が必要。 ・座学と実習の職員が協力的である。 ・座学教員の確保が必要である。
	学科等のカリキュラムは、座学と実習とが体系的に構成されているか	C		
	関連校・関連企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	B		
	産学連携による職業体験が体系的に位置づけられているか	B		
	授業評価の実施・評価体制、改善点の検証、改善がなされているか	C		
	教育体制の評価を外部から取り入れているか	C		
	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけがなされているか	C		
	人材育成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	C		
	職員の能力開発のためのOJT研修は行われているか	D		
学修成果	就職率の向上が図られているか	B	B	・コロナ禍ではあるが、就職率の向上は図られていないと思う。また、卒業生との関りが強い面もあるが、そうでない部分もあるので、積極的に情報収集に努める。 ・介護士や食育インストラクター等の資格がとれる機会が折角あるので、資格取得希望者を増やし、社会に出て役に立つ情報を学生に周知していく。 ・卒業生の活躍の評価まで全員が把握できていない。 ・校外実習等での学生の状況についてよい部分も、よくない部分も職員に伝えるべきであると思う。このことを学生指導に生かすべきであると思う。 ・校外実習、就職等に卒業生がとて協力してくれていると感じる。 ・卒業生との繋がりが、校外実習の受け入れや進路先についても支援していただく中で目的の達成が行われている。
	社会ニーズに応じた資格取得の検討と現存資格取得の検証が図られているか	C		
	退学防止の為に早期対応が図られているか	B		
	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	C		
	教職員の産業界、地域社会、卒業生の評価を把握しているか	B		
学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	B	B	・進路・就職に関する相談は担任や実習助手が個々に受けていることが多いと思うので進路部への情報共有を確実に行う。 ・学生へのアンケート、面談を行うことで普段聞けない事なども分かるので、定期的に行うべきで、就職アンケートも年3回実施するので、そのタイミングで各クラス面談が実施出来れば理想的。 ・学生相談に関する体制が授業終了後にとれない。1年に1～2回でもいいので45分の授業にして個別面談の時間を行事計画の中に入れ、1日、4～5人ずつ行う方法でやっていきたい。 ・コロナ禍で少ない中の求人とは言えど、色々な繋がりがあり、その中で内定が決められているのでよいと思う。 ・コロナウイルスに感染した学生についての支援の方法を明確にする。 ・求人票も適宜更新されており、不便はないが、書式をデータ化するよう努めたい。
	学生相談に関する体制は整備されているか	C		
	学生に対する経済的支援は整備されているか	B		
	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	B		
	保護者と適切に連携しているか	B		
	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みがなされているか	C		
教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B	B	・防災訓練がコロナの影響で実施できないことが多かったため、落ち着いたタイミングで実施出来たらよいと思う。次年度は必ず実施をする。 ・教室のビデオが使えると授業で動画等を使いやすいと思う。 ・不足している機材器具を揃える。 ・財政的に厳しいが、使用不能な器具については更新する必要がある。
	防災に対する体制は整備されているか	B		
学生募集	学生募集活動は、適正に行われているか	C	C	・ガイダンスや学校訪問を通じて、学生募集活動は行われているが、就職先が広がるよりよい活動が行われると思う。 ・体験入学をはじめ、ガイダンスなどはとても積極的だと思えます。体験入学の補助学生がもう少し多くてもよいと思う。 ・コロナの中でも出来る学生募集のやり方考えるべきであると思う。他校の情報を探り入れてみるとよい。 ・ガイダンス・体験入学はしっかり実施できていると思うが、まだ、学校の知名度は低いと感じる。 ・食料の価格の高騰を考えると今後材料費の検討をする必要がある。 ・北九州市近辺は、コロナ禍の中で調理への興味関心が希薄になっているのではと感じるが、県内なら遠方でも足を運んで募集活動を行う必要性を感じる。
	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	C		
	学費等、納入金は妥当なものとなっているか	C		
教員組織体制	業務の共有化を図るため、協働での分掌業務が行われているか	C	C	・前年度から協働での分掌業務が行われていると思うが、よりスムーズな業務ができるようにしたい。 ・自分の分掌以外の業務や情報の把握がまだ不十分なので、積極的に分掌の共有をしていかなければいけない。 ・データの共有化は出来ているが、1か月前には行事企画の発表があるとよい。 ・学生と個人的な連絡先のやり取りはしない方針で行いたい。 ・随分協働で業務を行えるようになった。今後、互いに更に補い合って業務を遂行していきたい。 ・PCデータ整理が必要である。
	全ての分掌データの保管場所が明確で誰もが理解・取り扱えるように共有化を図っているか	C		
	学生に模範となる言動、職員間の協調性が図られているか	C		
法令等の遵守	法令、専修学校設置基準、養成校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	B	B	・自己評価の実施や問題点の改善を行っていききたい。 ・法律の事などの研修機会はよい。ハラスメント等も特に気になることはないので就業環境はよいです。これからも維持できるとよいと思います。 ・労基の問題もあると思うが、その日の授業が1日あって分掌業務ができないときもあるので何か方法を考えるべきである。 ・ハラスメントもなく、職場環境はよい。
	個人情報保護条例に関し、その保護のための対策がとられているか	B		
	ハラスメントにより、業務に支障をきたすようなことは起こっていないか	B		
	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	C		
	自己評価結果を公開しているか	C		
社会貢献 地域貢献	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	C	C	・社会や地域と連携した活動はまだ実施できていない。 ・コロナの状況を考慮して実施していけたらよいと思います。 ・社会貢献できることがあれば積極的に活動していきたい。 ・外部イベントには積極的に参加しているが、コロナ禍の中、学生と共に参加することが難しい状況である。 ・コロナの収束により活動再開は可能に思われる。
	学生・職員によるボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	C		
財 務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているか	C	B	・学生数が減少する中、一つ一つの消耗品や材料を有効かつ効率的に活用しなければならないと感じる。まず、無駄をなくす努力が必要である。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B		
	財務情報公開の体制整備はできているか	B		

A:適切である(5点) B:概ね適切である(4点) C:やや適切である(3点) D:適切でない(2点)

総合評価: B

北九州調理製菓専門学校教職員